

Topics

(平成22年4月～平成22年9月)

《平成22年4月》

▶「かぎん文書管理センター」の開設

文書の誤廃棄防止等、行内における保存文書の管理を強化することを目的として、保存文書を集中管理する「かぎん文書管理センター」を開設しました。

《平成22年5月》

▶福岡南支店の統合

福岡南支店を福岡支店へ統合しました。人材を集約し、情報・ノウハウや専門知識を共有化することで、これまで以上にお客様にご満足いただける金融サービスを提供します。

《平成22年6月》

▶本部組織の変更

本部による経営改善サポート・コンサルティング機能を一層充実させ、本部と営業店が一体となってお取引先の経営改善支援を図ることを目的に、審査部内に「企業サポート室」を新設しました。

また、効率的かつ実効性の向上につながる業務運営態勢を構築するため、総合企画部の「経営改革室」「グループ会社統括室」を廃止し、「企画広報グループ」に統合しました。

《平成22年7月》

▶口蹄疫被害に対する義援金の寄付

甚大な被害を受けた宮崎県及び鹿児島県の畜産業界の早期再生に役立てていただくため、両県の共同募金会(宮崎県口蹄疫被害義援金・鹿児島県口蹄疫被害義援金)へそれぞれ10,000千円を寄付しました。ま

た、宮崎県内とその周辺の各店舗に消毒マットを設置するなど、被害拡大防止策を講じるとともに、畜産業界及び地域経済に与える影響に対し、地域金融機関として本部・営業店一体となって取り組みました。

▶店舗機能見直し

第4次経営戦略計画における「経営効率化」の具体策であるマーケット特性に合わせた店舗機能の見直しとして、鹿児島市内5か店、鹿児島市外3か店を個人特化店とし、個人のお客様にとって、より一層充実したサービスを提供できる店舗としました。今後もよりよい店舗ネットワークを構築すべく、店舗機能の見直しを順次進めてまいります。

《平成22年8月》

▶「かぎん・成長事業支援資金」の創設

政府の「新成長戦略」「産業構造ビジョン2010」の趣旨を踏まえ、成長分野に取り組む事業者を対象とした融資制度「かぎん・成長事業支援資金」を創設しました。さらなる地元経済の活性化のため、本資金を活用し、事業者の皆様をより一層支援します。

▶「親子で研究!かぎん夏休みお金の教室」の開催

「金融教育を通じた地域貢献事業」の一環として、小学生の皆様に金銭感覚について考え、金融経済に対する興味を深めてもらうために「親子で研究!かぎん夏休みお金の教室」を開催し、お金についての授業や為替取引体験を行いました。

» 地域活性化プロジェクト推進に係る産学官連携協定の締結

九州新幹線の全線開業を見据え、関西圏や近年発展著しい東アジア諸国等からの誘客も視野に入れながら、平川動物公園やかごしま水族館の魅力を高めるとともに、これらの各施設を有機的に結びつけ、また効果的な情報発信を行うことを目的として、鹿児島市、国立大学法人鹿児島大学、鹿児島経済同友会と連携協定を締結しました。

《平成22年9月》

» 「南の逸品商談会 in Tokyo 2010」の開催

「鹿児島アグリ&フード金融協議会」（鹿児島県内6金融機関で構成）は、鹿児島県と共同で「南の逸品商談会 in Tokyo 2010」を開催しました。当日は鹿児島から67社が出展しました。

» 電気自動車「i-MiEV（アイ・ミーブ）」の導入

「鹿児島銀行環境方針」に基づく環境保全活動の一環として、屋久島支店へ電気自動車「i-MiEV（アイ・ミーブ）」を2台導入しました。

世界遺産に登録されている屋久島では、ほぼ全ての電力が発電時に二酸化炭素（CO2）を発生しない水力発電により賄われていますが、事業活動や家庭、運輸

部門等におけるCO2排出量削減を推進することで、更なる低炭素社会、CO2フリーの島・屋久島の実現を目指しています。当行でも、CO2排出ゼロの環境に優しい電気自動車を営業用車両として使用することで、低炭素社会づくりの一助とするため、導入を決定しました。

» 連結子会社の合併の決定

経営管理態勢を一元化し、効率化を進めることで、鹿児島銀行グループの競争力を高めることを目的として、当行の連結子会社である「かぎんオフィスサービス株式会社」と「かぎんビジネスサービス株式会社」を合併することを決定しました。平成23年4月に合併後、商号変更を行い、新会社の商号は「かぎんオフィスビジネス株式会社」となる予定です。なお、本合併は当行100%出資子会社同士の合併であるため、当行連結業績への影響は軽微であります。

» 東京支店の屋上緑化

「鹿児島銀行環境方針」に基づく環境保全活動の一環として、当行の県外店舗で初めて東京支店（東京鹿児島ビル）の屋上の一部を緑化しました。

また、緑化の基盤には、天然素材で保水機能が高い鹿児島特有の火砕流積物（シラス）を使用しています。

